

## 職能団体好事例調査および病院団体による意見調査

- 職能団体に対する好事例調査
- 四病院団体協議会による意見調査

研究代表者 今村 知明 (奈良県立医科大学 教授)  
研究分担者 小野 孝二 (東京医療保健大学 教授)  
内藤 祐介 (奈良県立医科大学 講師)  
岡本左和子 (奈良県立医科大学 講師)

### 研究要旨

本調査では、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」(以下、検討会)において、現行制度上実施可能な業務のうち、「特に推進したい業務」として取りまとめられた 44 業務について、今後医師の働き方改革を特に必要とする医療機関が取り組みの参考にできるような実行できる可能性の高い好事例を収集することを目的に調査研究を行った。

調査方法については、職能団体に対し、各業務について 3 件程度の好事例の収集を依頼するとともに、その収集事例について医師に対して医療現場からの意見を出してもらえるように依頼(意見調査)をした。

本調査の結果は、26 業務について計 85 の好事例を収集することができた。また、そのうち、71 事例については、タスク・シフト/シェアをする側の病院で働く医師からみても好事例であると考えられる業務であった。さらにその中でも、すでにタスク・シフト/シェアに取り組んでいる病院にとっても時短につながる可能性が高い業務も 10 事例存在した。

本研究の結果、今後の好事例のさらなる収集や分析に資する基礎資料が集まった。また、現行制度上実施可能であることが、明文化され周知されることにより、具体的な医師の働き方改革に寄与するものと考えられる。

## A. 研究目的

「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」(以下、「検討会」)は、令和元年10月23日に第1回が開催され、令和元年度内に一定の結論を示す予定で進められていたが、新型コロナウイルス感染症等の影響によりしばらく議論が中断し、第7回(令和2年12月11日)で議論の整理がなされている。しかしながら、第6回(令和2年2月19日)において、それまでの議論の取りまとめはされており、「現行制度上実施可能な業務」の中から、「特に推進するもの」として44業務が示されるとともに、その具体的な普及・推進策については、「2024年に向けて、タスク・シフト/シェアの推進に関する好事例を収集し、分析する」という方向性が示された。

本研究では、好事例を収集するとともに、費用対効果を含めた分析手法を確立するための基礎資料を得ることを目的に、調査研究を行った。

## B. 研究方法

検討会において整理された「現行制度上実施可能な業務」のうち、「特に推進するもの」は医療関係資格(職能)ごとに示されており、それぞれの職能団体に対し好事例の収集依頼を行った。また、収集された好事例について、実際にタスク・シフト/シェアを行う医師に対して職能ごとに提出された好事例について意見をもらう調査(以下、意見調査)を行った。

### (1) 好事例収集

『第6回 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会(2020.2.19)』の資料3「現行制度上実施可能な業務の推進について」において示された44業務について、職能団体に対して好事例の収集を依頼した。

- ・調査期間：2020年10月19日～11月20日
- ・調査依頼団体(検討会資料記載順)：  
以下の9団体に対し調査を行った。

- ① 公益社団法人日本看護協会(18業務)
- ② 公益社団法人日本診療放射線技師会(4業務)
- ③ 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(3業務)
- ④ 公益社団法人日本薬剤師会(7業務)
- ⑤ 公益社団法人日本理学療法士協会(1業務)
- ⑥ 一般社団法人日本作業療法士協会(1業務)
- ⑦ 公益社団法人日本臨床工学技士会(4業務)
- ⑧ 一般社団法人日本言語聴覚士協会(1業務)
- ⑨ 特定非営利活動法人日本医師事務作業補助研究会(5業務)

・調査内容：関係する診療科、タスク・シフト/シェアが発生する場面、取り組み開始時期、業務マニュアル/院内の資格要件、実施前後の状況の変化、その他(別紙資料2\_例\_診療放射線技師・業務①)

### (2) 意見調査

実際にタスク・シフト/シェアが医療現場で実施されるには、タスク・シフト/シェアをすすめる側である医師にとって、有用であるかどうか重要なポイントと考えた。今年度は四病院団体協議会(以下、四病協)から、設立主体、病床規模、病院機能等の隔たりが小さくなるように病院を推薦してもらい、推薦病院に対して本研究班が職能団体から収集した好事例に対して意見調査を行った。

- ・調査期間：2020年11月6日から11月30日
- ・依頼病院数(四病協推薦)：20病院
- ・求めた意見内容：

<設問①>貴院での取り組み状況(実施時期)

1. ここ5年以内

2. ここ1年以内
3. 取り組みを検討中
4. 取り組む予定はない
5. この職種にはシフトしていない

<設問②>すでに実施している病院に対し、好事例と回答病院との時短効果の比較

1. この事例の方が、時短効果が大きい
2. この事例の方が、時短効果がやや大きい
3. この事例と概ね同程度の時短効果
4. この事例より、当院の時短効果がやや大きい
5. この事例より、当院の時短効果が大きい

<設問③>事例についての総合的評価

1. 好事例として参考にしたい
2. 広く一般的な事例だと思う
3. それほど参考ににならない

## C. 研究結果

### (1) 好事例収集結果

新型コロナウイルス感染症への対応に追われる医療現場の負担を考慮し、調査を断念する団体、また、依頼した回答事例数（3事例）に満たないものもあったが、8団体から対象となる26業務について計85の好事例を収集することができた。

各団体から収集した好事例については以下の結果となった。（別紙資料1）

職能	業務No.	業務内容	事例数
診療放射線技師	①	検査や治療の説明と同意（含む相談）	4
	②	血管造影・画像下治療（IVR）における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の位置を医師と協働して調整する操作	3
	③	放射線管理区域内での患者誘導	6
	④	撮影部位の確認・追加撮影オーダー	3
臨床検査技師	①	心臓・血管カテーテル検査、治療における超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・測定等、直接侵襲を伴わない検査装置の操作	9
	②	所見の下書きの作成	9
	③	医師の説明等の前後に輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意	3
薬剤師	①	手術室において、薬剤に関連する業務の実施	3
	②	病棟等における薬剤管理	2
	③	事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更	2
	④	薬の効果・副作用状況の把握、服薬指導の実施	4
	⑤	患者の薬物療法全般に関する説明	3
	⑥	手術後の患者を訪床して、術後痛を評価し、医師に鎮静薬を提案、術前に中止していた薬が術前指示通り再開しているかの確認	2
	⑦	患者を訪床などして情報収集し、医師に処方提案や処方支援を実施	2
理学療法士	①	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付や非侵襲的検査の定型的な検査説明	2

作業療法士	①	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付や非侵襲的検査の定型的な検査説明	3
臨床工学技士	①	内視鏡検査・治療時や整形外科や心臓血管外科等の手術、心臓・血管カテーテル検査・治療、中心静脈カテーテル留置、胃管挿入等において、清潔野で術者に器材や診療材料を手渡す	7
	②	医師の具体的な指示の下、全身麻酔装置の操作	1
	③	手術後、又は集中治療室において、各種ラインの整理、麻酔科医等とともに患者の手術室退室誘導	1
	④	医師の具体的指示の下、人工心肺中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	1
言語聴覚士	①	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付や非侵襲的検査の定型的な検査説明	7
医師 事務 作業 補助者	①	医師の具体的な指示の下、診療録等の代行入力	2
	②	書類の下書き・仮作成 診療録に記載された情報をもとに、書類の下書き	1
	③	診察前の予診（特に推進する 44 業務に準ずる）	2
	④	検査等医学的行為に関する説明、各種書類の説明・同意書の受領	2
	⑤	入院オリエンテーションなど医学的行為ではない事項の説明及び同意書の受領	1
合計			85

## (2) 意見調査結果

新型コロナウイルス感染症への対応に集中することを余儀なくされる中で協力を断念する病院もあったが、10 病院から回答が得られた（表 1）。

総合的な評価を確認した設問③において、「1. 好事例として参考にしたい」もしくは「2. 広く一般的な事例だと思う」との回答割合が、5 割を超える事例は以下の 71 事例であった。

- ・診療放射線技師 16/16 事例
- ・臨床検査技師 8/21 事例
- ・薬剤師 18/18 事例
- ・理学療法士 2/2 事例
- ・作業療法士 3/3 事例
- ・臨床工学技士 9/10 事例
- ・言語聴覚士 7/7 事例
- ・医師事務作業補助者 8/8 事例

また、設問②については、すでにタスク・シフト/シェアを実施している病院からのみ時短時間の相対比較であるため、回答結果を次のように計量化し、平均を求めた。（表 1）

- 5 点：この事例の方が、時短効果が大きい
- 4 点：この事例の方が、時短効果がやや大きい
- 3 点：この事例と概ね同程度の時短効果
- 2 点：この事例より、当院の時短効果がやや大きい
- 1 点：この事例より、当院の時短効果が大きい

結果、平均が 3.5 を超えるものを時短効果の側面からみた好事例として考えると、以下の 10 事例が確認できた。

- 診療放射線技師
  - ・業務③ 1 事例
  - ・業務④ 3 事例
- 臨床検査技師
  - ・業務① 3 事例
  - ・業務③ 2 事例
- 医師事務作業補助者
  - ・業務④ 1 事例

表1			(設問1)							(設問2)							(設問3)				
職種	業務No.	施設No.	回答病人数	1.この5年以内に取り組んだ	2.この1年以内に取り組んだ	3.取り組みを検討中	4.取り組み予定はない	5.この職種にはシフトしていない	回答病人数	1.この事例の方が、当該より時間効果大きい	2.この事例の方が、当該より時間効果がやや大きい	3.この事例と同程度の時間効果がある	4.この事例より、当該の時間効果が大きい	5.この事例より、当該の時間効果が大きい	時間効果計量化(3.5以上)	回答病人数	1.好事例として参考にした(1)	2.広く一般的な事例だと認めた(2)	3.それほど参考にならない(3)	4.横展開の検討に値する(1+2)	
診療放射線技師	①	3	10	50.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	5	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	3.2	10	20.0%	70.0%	10.0%	80.0%	
		12-①	10	20.0%	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	9	11.1%	66.7%	22.2%	77.8%	
		12-②	10	30.0%	10.0%	10.0%	40.0%	10.0%	4	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	10.0%	60.0%	30.0%	70.0%	
		13	10	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	40.0%	0	-	-	-	-	-	-	7	14.3%	42.9%	42.9%	57.1%	
	②	5	10	10.0%	0.0%	10.0%	60.0%	20.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	7	14.3%	57.1%	28.6%	71.4%	
		6	10	30.0%	0.0%	10.0%	40.0%	20.0%	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.3	8	12.5%	62.5%	25.0%	75.0%	
		14	10	10.0%	0.0%	10.0%	50.0%	30.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	7	14.3%	57.1%	28.6%	71.4%	
		1	9	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.3	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	③	9-①	10	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%	4	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	3.3	7	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
		9-②	9	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	3.4	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
		9-③	8	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	4	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	3.3	6	0.0%	83.3%	16.7%	83.3%	
		9-④	8	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	4	0.0%	75.0%	25.0%	75.0%	
	④	10	10	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	6	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	3.5	10	30.0%	70.0%	0.0%	100.0%	
		11	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	3.6	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	
		15	10	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	3.6	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	
1		10	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	60.0%	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0	8	25.0%	50.0%	25.0%	75.0%		
臨床検査技師	①	2	10	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	40.0%	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	8	25.0%	50.0%	25.0%	75.0%	
		3-①	10	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	4.0	8	37.5%	37.5%	25.0%	75.0%		
		3-②	10	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	60.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	
		3-③	10	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	25.0%	12.5%	62.5%	37.5%	
		3-④	10	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	25.0%	12.5%	62.5%	37.5%	
		3-⑤	10	20.0%	0.0%	0.0%	30.0%	50.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	8	37.5%	12.5%	50.0%	50.0%	
		3-⑧	10	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	60.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	37.5%	25.0%	37.5%	62.5%	
		3-⑨	10	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	37.5%	25.0%	37.5%	62.5%	
		5-①	9	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
	②	5-②	9	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
		5-③	9	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
		6-①	9	22.2%	0.0%	33.3%	44.4%	0.0%	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	1.5	8	37.5%	0.0%	62.5%	37.5%	
		6-②	9	11.1%	0.0%	55.6%	33.3%	0.0%	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2.0	8	37.5%	12.5%	50.0%	50.0%	
		7-①	9	33.3%	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%	3	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	2.7	8	37.5%	0.0%	62.5%	37.5%	
		7-②	9	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	
7-③		9	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0	-	-	-	-	-	-	8	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%		
7-④		9	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	1.5	8	37.5%	0.0%	62.5%	37.5%		
③	8	10	10.0%	0.0%	30.0%	40.0%	20.0%	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0	8	62.5%	12.5%	25.0%	75.0%		
	9	10	20.0%	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2.5	8	75.0%	12.5%	12.5%	87.5%		
	10	10	20.0%	0.0%	30.0%	30.0%	20.0%	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.5	8	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%		
薬剤師	①	1	10	30.0%	0.0%	40.0%	30.0%	0.0%	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.3	10	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%	
		2	10	20.0%	0.0%	50.0%	30.0%	0.0%	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	30.0%	60.0%	10.0%	90.0%	
		3	10	20.0%	10.0%	40.0%	30.0%	0.0%	3	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	30.0%	60.0%	10.0%	90.0%	
	②	1	10	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	9	11.1%	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	3.2	10	10.0%	80.0%	10.0%	90.0%	
		3	10	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	9	0.0%	11.1%	44.4%	22.2%	22.2%	2.4	10	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
		1	10	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	4	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%	
	③	2	10	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	4	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	50.0%	40.0%	10.0%	90.0%	
		1-①	10	20.0%	10.0%	0.0%	60.0%	10.0%	4	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	3.0	10	10.0%	70.0%	20.0%	80.0%	
		1-②	10	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2.0	10	30.0%	50.0%	20.0%	80.0%	
	④	2	10	50.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	7	14.3%	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	2.9	10	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%	
		3	10	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2.5	10	10.0%	80.0%	10.0%	90.0%	
		1	10	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	10	20.0%	40.0%	40.0%	60.0%	
	⑤	2	10	80.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	8	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	2.4	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	
		3	10	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	8	12.5%	0.0%	62.5%	12.5%	12.5%	2.9	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	
		1	10	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10	0.0%	10.0%	80.0%	0.0%	10.0%	2.9	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	
⑥	2	10	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	10.0%	2.8	10	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%		
	2	10	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	5	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	3.0	10	30.0%	60.0%	10.0%	90.0%		
	3	10	60.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	8	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	3.0	10	20.0%	70.0%	10.0%	90.0%		
理学療法士	①	1	10	80.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	8	12.5%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%	2.9	10	10.0%	80.0%	10.0%	90.0%	
		2	10	80.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	8	12.5%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%	3.1	10	10.0%	80.0%	10.0%	90.0%	
		1	10	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	9	11.1%	0.0%	55.6%	33.3%	0.0%	2.9	10	10.0%	80.0%	10.0%	90.0%	
作業療法士	①	2	10	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	8	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	2.8	10	10.0%	70.0%	20.0%	80.0%	
		3	10	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	8	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	2.6	10	10.0%	70.0%	20.0%	80.0%	
		1	10	70.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	7	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	3.0	10	20.0%	50.0%	30.0%	70.0%	
臨床工学技士	①	2-①	10	0.0%	0.0%	10.0%	60.0%	30.0%	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	9	33.3%	22.2%	44.4%	55.6%	
		2-②	9	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.0	8	25.0%	12.5%	62.5%	37.5%	
		4-①	10	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	7	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	3.3	10	20.0%	60.0%	20.0%	80.0%	
		4-②	9	55.6%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	6	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	2.8	9	11.1%	66.7%	22.2%	77.8%	
	②	4-③	9	66.7%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	7	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	3.0	10	10.0%	60.0%	30.0%	70.0%	
		4-④	9	55.6%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	6	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%							

#### D. 考察

本研究の結果、職能団体の協力により非常に多くのタスク・シフト/シェアの好事例について事例収集することができた。また、そのうちのほとんどは現場で医療に従事する医師からみても有用であることも確認することができた。

また、サンプル数が少ない点や調査表の内容について改善の余地があることには十分に留意が必要であるが、タスク・シフト/シェアの最終目的である医師の時短効果が高いと考えられる事例も収集することができた。

今年度については、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会のとりまとめまで至っていない中で、時間制約、新型コロナウイルス等の影響により、調査の実施や協力の範囲が限られた。今後、収集できた事例の詳細な分析をすることで、費用対効果（研修、準備及び時短時間）等の分析につなげられると考える。

#### E. 結論

令和2年12月23日に議論の整理が公表され、現行制度の下で実施可能な業務のうち、特に推進するものとされた44業務の中から、本研究では、職能団体から医師の時短に資する、タスク・シフト/シェアの好事例が収集できた。また、好事例について医療現場にいる医師の意見を得られた。これにより、医師の時短を目指して、まずどのようなタスク・シフト/シェアを推進していくのがよいのか整理ができた。また、令和4年度に設置が予定される「評価機能」や都道府県医療勤務環境改善支援センターの活動に資する基礎資料が集まり、医療行政に貢献できたと考える。

#### F. 健康危険情報

なし（非該当）

#### G. 研究発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し。

#### I. 謝辞

本分担研究については、株式会社日本経営に多大なご協力をいただいたことに、感謝申し上げます。









職種	業務項目	業務内容 (職能/団体提案の好事例)	施設 №	月当り発生件数 №	詳細業務	タスクシフトの効果				タスク・シフト/シニア前後の変化													
						タスクシフト前 ※業務1回当り時間(分)		タスクシフト後 ※業務1回当り時間(分)		1.タスク・シフト/シニアを行うに至った理由 (複数回答可)		2.推進責任者 (複数回答可)		3.タスク・シフトを実現するにあたり、特に重要な役割を果たしたと思われる項目(複数回答可)									
						医師	移管先職種	医師	移管先職種	医師	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	医師以外の医療従事者からの要請	
						個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]
臨床検査技師	①	心臓・血管カテーテル検査、治療における超音波検査や心電図検査、血管内の血圧の観察・測定等、直接侵襲を伴わない検査装置の操作	1	421 (2019年度)	1 操作台操作、放射線装置設定	5.0	-	-	5.0	135.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
					2 血管内超音波、光干渉装置、冠血流予備能比計測および記録、画像の判読	10.0	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					3 ハルーンおよびstentインフレーション	5.0	-	5.0	5.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					4 周辺機器(ロータレータ、ダイヤモンドバック、DCA等)準備および操作	10.0	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					5 補助循環装置(PCPC、IABP、Impella等)の準備および操作	10.0	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					6 病室でのアシスト業務(病室でのデバイス準備、受け渡し、ドクトワイヤー保持)	90.0	-	90.0	90.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					7 造影剤インジェクションシステムの準備、操作	10.0	5.0	5.0	5.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					1 カテ室業務 PCI中の記録	60.0	-	60.0	60.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					2 カテ室業務 PCI中IVUSの記録	60.0	-	60.0	60.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					3 カテ室業務 CAG中の助手	20.0	-	20.0	20.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					4 カテ室業務 PCI中の助手	60.0	-	60.0	60.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					3-①	80	1	血管内超音波(IVUS)・光干渉断層法(OCT)機器操作	40.0	40.0	-	-	40.0	40.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					3-②	80	1	不整脈アブレーション時の3Dマッピングシステム操作と解析および周辺機器操作	180.0	180.0	-	-	180.0	180.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					3-③	80	1	診断用心臓電気刺激装置(ステイムレータ)の操作	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					3-④	80	1	TAVI手術時の消毒野での人工組み立て補助操作	120.0	120.0	-	-	120.0	120.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3-⑤	80	1	冠血流予備能比(FFR)測定操作	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓					
3-⑥	80	1	消毒野でのカテーテル関連医療機器および薬剤の準備	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓					
3-⑦	80	1	透視装置、カテーテル台の移動および撮影位置の調整	15.0	15.0	-	-	15.0	15.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓					
臨床検査技師	②	所見の下書きの作成(生体材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等)	1	43	1 特殊染色の陽性陰性判定(43件/月):結核菌、アミロイド、ヘリコバクター・ピロリ菌等、組織切片中の病原体ないし異常タンパク質等を染色し、陽性が陰性化の結果を染色スライドガラス上に記載し、標本を病理医に提出する。	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
					2 脳腫瘍、乳腺組織におけるki-67陽性率カウント(35件/月):ki-67は、細胞の増殖期相に核陽性を示すたんばく質で、腫瘍細胞中の陽性率は細胞増殖能の指標になる。酵素抗体法を施した標本の画像から陽性細胞をカウントし、求めた陽性率を記載したのち、標本を病理医に提出する。	10.0	10.0	-	-	30.0	30.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					3 胃癌、乳腺組織におけるHER2 DISH増幅カウント及び判定(12件/月):HER2タンパクの発現を酵素抗体法とは別にISH法で証明する方法である。通常核内に2個存在する17番染色体を基準として、異常に増えたHER2遺伝子の陽性数をカウントし比を求めて結果を記載し、病理医に提出する。	5.0	5.0	-	-	30.0	30.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					4 細胞診検査成績の記入(400件/月):細胞検査士が写真上入力した報告書を医師が写真の複写機能を利用して確認し承認する。成績には医師名と技師名が入力される。	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					5 1 外注検査の依頼書記入(5件/月):明らかに腫瘍細胞の判別が可能な標本において遺伝子検査標本の細胞数、含有率を確認する。	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					2 細胞診標本所見下書き(400件/月) 陰性陽性問わず細胞診全例の所見下書きを細胞検査士が行っている。場合によっては組織診の下書きも行っている。病理医とディスカッション後、所見再入力の必要が生じた場合も細胞検査士が再入力を行う。特殊染色、免疫染色結果やミクロ画像撮影まですべて細胞検査士が入力して病理医による報告書が作成される。病理医は報告書内容を最終的にチェックするのみであり、入力業務を本館に委託してある。	3.0	3.0	-	-	3.0	3.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					7-② 1 特殊染色所見下書き(5件/月)	2.0	2.0	-	-	5.0	5.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					7-③ 1 免疫染色所見下書き(10件/月)	5.0	5.0	-	-	10.0	10.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					7-④ 1 細胞像画像撮影(40件/月)	5.0	5.0	-	-	5.0	5.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
					臨床検査技師	③	医師の説明等の前後に輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意(輸血療法や輸血関連検査の意義・解釈、輸血のリスクなど) ・医師と患者、家族等が十分な意思疎通をとれるよう調整 ・輸血承諾書への署名を求め受領	1	3	1 輸血関連検査、輸血前後検査の説明と同意の取得。 (業務内容) 輸血を受ける患者様またはご家族に対し、輸血前後検査の必要性と詳細な検査内容、検査を受ける時期について検査技師がヘッドサイドへ行き説明と同意を得る。 輸血検査の時期になったら、主治医あてに輸血検査の時期であることを知らせる文書を送し、患者様に輸血検査を受ける意思があるかを確認し、検査の依頼をしてもらう。輸血検査を受けていただいた場合には、輸血前後検査の結果を踏まえて、輸血関連の感染の疑いがないことなどを説明し結果をお返しするという流れで、一連の輸血前後検査をおもに臨床検査技師主体で進めております。	10.0	10.0	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	✓	✓	✓	✓	✓
2 血液型型型、不規則抗体陽性時に説明書を作成して他医療機関受診時提出	20.0	20.0	-	-						20.0	20.0	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
1 輸血の必要性についての説明	1.0	-	-	1.0						-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-			
2 輸血のリスク、副作用について	1.0	-	-	1.0						-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-			
3 輸血関連検査について	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-								
4 輸血承諾書の内容確認	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-								







職種	業務項目	業務内容 (職能団体提案の好事例)	施設 №	月当り発生 件数	№	詳細業務	タスクシフトの効果				タスク・シフト/シエラ前後の変化																			
							タスクシフト前 ※業務1回当り時間(分)		タスクシフト後 ※業務1回当り時間(分)		1.タスク・シフト/シエラを行うに至った理由 (複数回答可)		2.推進責任者 (複数回答可)		3.タスク・シフトを実現するにあたり、特に重要な役割を果たしたと思われる項目(複数回答可)															
							医師	移管先職種	医師	移管先職種	医師	医師以外の医療従事者(医師以外の該当部長)	医師(該当診療科の部長)	医師以外の医療従事者(医師以外の該当部長)	職員の配置(タスク・シフト/シエラ)	技術(費)の担	余力の確保または抽出	その他												
							個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]	個別業務 [分]	合計 [分]				
作業療法士	①	リハビリテーションに関する各種書類の作成・説明・書類交付(リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関する書類、目標設定等支援・管理シート等)や非侵襲的検査の定型的な検査説明	1	100	1	リハビリテーション総合実施計画書の指示	5.0	-	5.0	-																				
					2	作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・看護師・社会福祉士等からの専門領域の記載	-	10.0	-	10.0																				
					3	リスク管理、リハビリテーションの目標等の記載	5.0	5.0	5.0	10.0																				
					4	患者・家族の説明と同意	30.0	-	-	-																				
					5	診療録への記載、保管	5.0	-	-	-																				
					1	身体手順作成、診断書作成のための指示	5.0	-	5.0	-																				
					2	身体状況等の評価	-	40.0	-	40.0																				
					3	書類作成(下書き)	30.0	-	-	-																				
					4	交付作業	10.0	-	10.0	-																				
臨床工学士	①	・内視鏡検査・治療時や整形外科や心臓血管外科等の手術 ・心臓・血管カテーテル検査・治療 ・中心静脈カテーテル留置 ・胃管挿入等 において、清潔野で術者に器材や診療材料を手渡す	1	20	1	不整脈デバイス留置術におけるデバイスの手配	10.0	-	-	10.0																				
					2	不整脈デバイス留置術における手術用医療機器や器材の準備	10.0	-	-	10.0																				
					3	不整脈デバイス留置術における術野の消毒やドレーピングの補助	10.0	-	-	10.0																				
					4	不整脈デバイス留置術における器械出し(術野における医療機器の組立てや動作確認も含む)	20.0	-	-	20.0																				
					5	不整脈デバイス留置術におけるデバイスの患者への説明、トラッキング書類の作成補助	40.0	-	-	40.0																				
					1	整形外科手術におけるインプラント製品等の手配	5.0	-	-	5.0																				
					2	整形外科手術における手術用医療機器や器材の準備	30.0	-	-	30.0																				
					3	整形外科手術における術野の消毒やドレーピングの補助	10.0	-	5.0	5.0																				
					4	整形外科手術における器械出し(術野における医療機器の組立てや動作確認も含む)	60.0	-	-	60.0																				
臨床工学士	②	医師の具体的な指示の下、全身麻酔装置(「生命維持管理装置」に該当)の操作	6	350	1	内視鏡治療等における器械出し(医療機器の組立てや動作確認も含む)	15.0	-	-	15.0																				
					2	内視鏡治療等における器械出し(医療機器の組立てや動作確認も含む)	80.0	-	-	80.0																				
					1	心・血管カテーテル治療等におけるインプラント製品の手配	5.0	-	-	5.0																				
					2	心・血管カテーテル治療等における手術用医療機器や器材の準備	10.0	-	-	10.0																				
					3	心・血管カテーテル治療等における術野の消毒やドレーピングの補助	5.0	-	-	5.0																				
					4	心・血管カテーテル治療等における器械出し(術野における医療機器の組立てや動作確認も含む)	60.0	-	-	60.0																				
					1	ECMO用カニューレや挿入に必要な器具・薬剤等の準備	15.0	-	-	15.0																				
					2	ECMO用カニューレの挿入において材料や器具を手渡す等	10.0	-	-	10.0																				
					1	IABP用/ルーメンカテーテルや挿入に必要な器具・薬剤等の準備	15.0	-	-	15.0																				
臨床工学士	③	手術後、又は集中治療室において、 ・各種ラインの整理 ・麻酔科医等とともに患者の手術室退室誘導	1	40	1	IABP用/ルーメンカテーテルの挿入において材料や器具を手渡す等	10.0	-	-	10.0																				
					2	血液浄化カテーテルや挿入に必要な器具・薬剤等の準備	5.0	-	-	5.0																				
					3	血液浄化カテーテルや挿入に必要な器具・薬剤等の準備	5.0	-	-	5.0																				
					1	麻酔回路やマスク等の準備	10.0	-	-	10.0																				
					2	麻酔器の準備と動作確認(回路接続、リークテスト、気化器への吸入麻酔薬の注入)	10.0	-	-	10.0																				
					3	シリンジポンプ等の準備と動作確認	10.0	-	-	10.0																				
					4	麻酔用モニタ等の準備と動作確認	10.0	-	-	10.0																				
					5	麻酔用モニタ等の患者への装着	5.0	-	-	5.0																				
					6	術中の麻酔用モニタ等の確認、麻酔記録の代行入力	180.0	-	-	180.0																				
臨床工学士	④	医師の具体的な指示の下、人工心肺中の患者(生命維持管理装置装着中の患者)の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	6	12	7	麻酔覚醒時の麻酔器の換気条件の変更	5.0	-	1.0	5.0																				
					8	麻酔用モニタ等の患者からの除去	5.0	-	-	5.0																				
					9	麻酔に用いた医療機器の使用後の点検と整備	15.0	-	-	15.0																				
					1	不要となったライン等の除去において材料や器具を手渡す等	5.0	-	-	5.0																				
					2	各種ラインの整理(中心静脈ライン、静脈ライン、動脈的血管ライン、ドレーン等)	5.0	-	-	5.0																				
					3	移動用人工呼吸器の換気条件の設定、気管チューブ等への接続	10.0	-	-	10.0																				
					4	酸素マスクの患者への装着	3.0	-	-	3.0																				
					5	生体情報モニタ等の患者への装着	3.0	-	-	3.0																				
					6	リカバリ室等への移送	5.0	-	5.0	-																				
臨床工学士	⑤	医師の具体的な指示の下、人工心肺中の患者(生命維持管理装置装着中の患者)の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整	6	12	7	リカバリ室等における生体情報モニタ等の患者への装着	3.0	-	-	3.0																				
					1	人工心肺回路等の準備	30.0	-	-	30.0																				
					2	使用予定薬剤等の準備(ピッキング)およびシリンジ等への充填	20.0	-	-	20.0																				
					3	人工心肺装置のプライミングと動作確認(心筋保護液供給装置を含む)	10.0	-	-	10.0																				
					4	自己血回収装置のプライミングと動作確認	20.0	-	-	20.0																				
					5	医師の指示による人工心肺中の血液、補液および薬剤の投与量の設定および変更	10.0	-	1.0	10.0																				
					6	医師の指示による人工心肺中の心筋保護液の投与量の設定および変更	30.0	-	3.0	33.0																				
					7	人工心肺中の薬剤等投与前後の患者の観察、医師への報告	20.0	-	2.0	20.0																				
					8	人工心肺中の採血およびACT等の測定、医師への報告	20.0	-	2.0	20.0																				
9	自己血回収装置の操作	30.0	-	-	30.0																									
10	医師の指示による回収血の人工心肺回路等への投与	50.0	-	5.0	50.0																									











タスク・シフト／シェア の事例収集調査表

設問.1 基本情報（病院についてお答えください）

1.病院名をお答えください。

病院名	
-----	--

2.救急機能の実施状況をお答えください。

一次救急                       二次救急                       三次救急  
 実施していない

3.病床数についてお答えください。

(1) 一般病床		[床]	(2) 療養病床		[床]
(3) 精神病床		[床]	(4) 感染症病床		[床]
(5) 結核病床		[床]	(6) 合計	-	[床]

4.ご協力者（ご記入者）

ご協力者 (ご記入者)	所属部署		役職	
	フリガナ			
	氏名			
連絡先	TEL		e-mail	
	FAX			

今回の調査（個別調査表にて別途回答）にご協力いただける業務全てにチェックを付けてください。

設問.2

タスク・シフトを実施されていないものはチェック不要です。

また、他の職種がタスク・シフトを受けている場合は、チェックボックスの下にその職種をご記入ください

職種：

- ① 検査や治療の説明と同意（含む相談）  
放射線検査（CT/MRI/RI)の説明や副作用に関する説明、検査前の問診。IVRの定型的な手技の説明、  
補償に関する説明  
他の職種がタスク・シフトを受けている場合は該当職種名称を記載ください
- ② 血管造影・画像下治療（IVR）における医師の指示の下、画像を得るためカテーテル及びガイドワイヤー等の  
位置を医師と協働して調整する操作  
他の職種がタスク・シフトを受けている場合は該当職種名称を記載ください
- ③ 放射線管理区域内での患者誘導  
他の職種がタスク・シフトを受けている場合は該当職種名称を記載ください
- ④ 撮影部位の確認・追加撮影オーダー（医師の事前指示に基づく実施）  
＜検査で認められた所見について、客観的な結果を確認し、医師に伝達＞  
他の職種がタスク・シフトを受けている場合は該当職種名称を記載ください

**設問.3** 以下の設問にご回答ください。(任意回答)

設問. 2の 調査対象業務を含めて、今後タスクシフト/シェアを検討している業務があれば以下にお答えください。

- |     |                              |  |
|-----|------------------------------|--|
| (1) | 現在実施しているもの以外<br>で実施を検討している業務 |  |
| (2) | 現在実施しているもの以外<br>で実施を検討している業務 |  |
| (3) | 現在実施しているもの以外<br>で実施を検討している業務 |  |

→「基礎調査表」の回答は以上になります。次に各業務の「個別調査表」へのご回答をお願い致します。

## タスク・シフト/シェア の事例収集調査表

職種： 業務内容：   
① 放射線検査（CT/MRI/RI）の説明や副作用に関する説明、検査前の問診。IVRの定型的な手技の説明、被ばくに関する説明

設問.1 上記業務内容に関係する診療科、発生する場面をお答えください。

1. 関係する診療科をお答え下さい（複数記載可）。

- |                                |                               |                                 |                                |                                     |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 全診療科  | <input type="checkbox"/> 内科   | <input type="checkbox"/> 精神科    | <input type="checkbox"/> 神経科   | <input type="checkbox"/> 神経内科       | <input type="checkbox"/> 呼吸器科 |
| <input type="checkbox"/> 消化器科  | <input type="checkbox"/> 胃腸科  | <input type="checkbox"/> 循環器科   | <input type="checkbox"/> 小児科   | <input type="checkbox"/> 外科         | <input type="checkbox"/> 整形外科 |
| <input type="checkbox"/> 形成外科  | <input type="checkbox"/> 美容外科 | <input type="checkbox"/> 脳神経外科  | <input type="checkbox"/> 呼吸器外科 | <input type="checkbox"/> 心臓血管外      | <input type="checkbox"/> 小児外科 |
| <input type="checkbox"/> 皮膚泌尿器 | <input type="checkbox"/> 皮膚科  | <input type="checkbox"/> 泌尿器科   | <input type="checkbox"/> 性病科   | <input type="checkbox"/> 肛門科        | <input type="checkbox"/> 産婦人科 |
| <input type="checkbox"/> 産科    | <input type="checkbox"/> 婦人科  | <input type="checkbox"/> 眼科     | <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 | <input type="checkbox"/> 気管食道科      | <input type="checkbox"/> 放射線科 |
| <input type="checkbox"/> 麻酔科   | <input type="checkbox"/> 心療内科 | <input type="checkbox"/> アレルギー科 | <input type="checkbox"/> リウマチ科 | <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 |                               |
| <input type="checkbox"/> その他   | ▶ 内容を記載して下さい                  |                                 |                                |                                     |                               |

2. 当該業務が発生する場面をお答えください。その他を選択した場合は内容を記載してください（複数選択可）。

- |                              |                               |                                 |                                |                                |                               |
|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 外来  | <input type="checkbox"/> 病棟   | <input type="checkbox"/> 救急室    | <input type="checkbox"/> 集中治療室 | <input type="checkbox"/> 手術室   | <input type="checkbox"/> 内視鏡室 |
| <input type="checkbox"/> 病理室 | <input type="checkbox"/> 院内薬局 | <input type="checkbox"/> 放射線検査室 | <input type="checkbox"/> 血管造影室 | <input type="checkbox"/> リハビリ室 |                               |
| <input type="checkbox"/> その他 | ▶ 内容を記載して下さい                  |                                 |                                |                                |                               |

設問.2 貴院ではこのタスク・シフト/シェアにいつごろお取り組みになりましたか。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 2019年度以降（1年以内）  | <input type="checkbox"/> 2017年度以降（3年以内） | <input type="checkbox"/> 2015年度以降（5年以内） |
| <input type="checkbox"/> 2014年度以前（5年以上前） |   |   |

設問.3 業務マニュアル/院内の資格要件等についてお答えください。

1. タスク・シフト/シェアを行う上での「業務マニュアル」についてお答えください。作成されていない場合は、作成していないとお答えください。

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 当該業務に関する業務マニュアルは作成していない            |
| <input type="checkbox"/> 当該業務に関する業務マニュアルを作成している（以下も回答ください。） |
| ▶ 作成組織（委員会等）  |

2. タスク・シフト/シェアを行う上での院内資格要件の許可者・仕組みについてお答えください。院内資格要件がない場合は、要件はないとお答えください。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 当該業務に関する院内資格等の要件はない                 |
| <input type="checkbox"/> 当該業務に関する院内資格等が要件ある（以下のアからカも回答ください。） |

ア 院内資格要件を許可権者は誰ですか。その他を選択した場合は内容を記載してください。（複数選択可）

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 医師（該当診療科の部長） | <input type="checkbox"/> 医師以外の医療従事者（医師以外の該当部門の部長） |
| <input type="checkbox"/> 担当委員会        |   |
| <input type="checkbox"/> その他          | ▶ 内容を記載して下さい                                      |

イ 院内資格要件における「座学研修」の状況をお答えください。

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 院内資格要件に座学研修はない             |
| <input type="checkbox"/> 院内資格要件に座学研修がある（以下も回答ください。） |

総研修時間 約  [時間]

外部講師を活用している場合は以下の項目に費用を回答ください。

外部講師費用 約  [円]

ウ 院内資格要件における「実務研修」の状況をお答えください。以下のいずれかを選択してください。

院内資格要件に実務研修はない

院内資格要件に実務研修がある（以下も回答ください。）

総研修時間 約  [時間]

エ 院内資格要件における「外部研修受講」の状況をお答えください。以下のいずれかを選択してください。

院内資格要件に外部研修受講はない

院内資格要件に外部研修受講がある（以下も回答ください。）

① 開催団体	<input type="text"/>		
② 研修名	<input type="text"/>		
③ 費用 約	<input type="text"/>	[円 / 1人あたり]	

オ 院内資格要件における「筆記試験」の状況をお答えください。以下のいずれかを選択してください。

院内資格要件に筆記試験はない

院内資格要件に筆記試験がある

カ 院内資格要件において、その他実施している内容があればお答えください。

その他の院内資格要件	<input type="text"/>
------------	----------------------

キ 業務マニュアル、資格要件等に関する資料を提供可能である場合は本回答と共に送付ください。

設問.4 タスク・シフト／シェア前後の業務実施状況の変化についてお答えください。

1. 当該業務が1か月当りに発生する平均的な回数を回答してください。

1か月に発生する平均回数 約  [件 / 月]

2. 「調査対象業務」の詳細業務と、タスク・シフト／シェア前後の業務実施時間（業務1件当り）を記載して下さい。詳細業務に対する業務時間が無い場合は「0」を記載してください。

タスク・シフト前		詳細業務	タスク・シフト後	
医師 [分 / 回]	診療放射線技師 [分 / 回]		医師 [分 / 回]	診療放射線技師 [分 / 回]
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
約	約		約	約
計	0.0	-	計	0.0

設問.5 タスク・シフト/シェア前後の業務実施状況の変化についてお答えください。

1. タスク・シフト/シェアを行うに至った理由をお答えください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	病院全体として、医師の労働時間削減のため推し進めた		
<input type="checkbox"/>	該当(個別)診療科の医師から要請		
<input type="checkbox"/>	医師以外の医療従事者からの要請		
<input type="checkbox"/>	その他	▶ 内容を記載して下さい	

2. 推進責任者についてお答えください。

<input type="checkbox"/>	医師(該当診療科の部長)	<input type="checkbox"/>	医師以外の医療従事者(医師以外の該当部門の部長)
<input type="checkbox"/>	各種委員会		
<input type="checkbox"/>	その他	▶ 内容を記載して下さい	

3. タスク・シフトを実現するにあたり、特に重要な役割を果たしたと思われる項目についてお答えください。(複数回答可)

(1) 「職員の意識(タスク・シフト/シェアへの理解)」に関する項目

<input type="checkbox"/>	医師の労働時間短縮に向けた具体的方策として、タスク・シフト/シェアを推進するという意識の醸成		
<input type="checkbox"/>	シフト/シェアする側の意識改革(業務を手放す)		
<input type="checkbox"/>	シフト/シェアされる側の意識改革(合意形成)		
<input type="checkbox"/>	各部門責任者等へのマネジメント研修・意識改革		
<input type="checkbox"/>	その他	▶ 内容を記載して下さい	

(2) 「技術(質の担保)」に関する項目

<input type="checkbox"/>	新たに担当する業務の導入に向けた院内研修の実施		
<input type="checkbox"/>	現行担当している職種(医師)による、教育・研修の実施		
<input type="checkbox"/>	その他	▶ 内容を記載して下さい	

(3) 「余力の確保または捻出」に関する項目

<input type="checkbox"/>	ICT導入等による業務全体の見直しや縮減		
<input type="checkbox"/>	元来の業務の担当職種の見直し		
<input type="checkbox"/>	現行担当している職種から、その他の職種へのタスク・シフト/シェア推進		
<input type="checkbox"/>	その他	▶ 内容を記載して下さい	

ご協力ありがとうございました。この業務内容に関する設問は以上です。  
他の業務の調査にもご協力頂いている場合は、次の個別調査表にご記入ください。